



「ありえない！」海外研究者も驚く鉢植え可能なチシマザクラが自生する東明公園（ポータルサイトPiPa特集より）

01

<http://www.pipaai.jp/specialedition/ringyoushikenjo/>

地域資源情報を美唄ファン(会員)がポータルサイトPiPaで発信





ラムサール条約に登録された湿地・宮島沼には春と秋に5万羽の渡り鳥「マガン」が飛来する（ポータルサイトPiPa特集より）

<http://www.pipaai.jp/specialedition/miyajimanuma/>

美唄市の概要1

■位置：北海道空知地域に位置し、札幌市と旭川市を結ぶ基幹国道12号線の間地点

■面積：277.61km²

■人口：25,686人（12,559世帯）

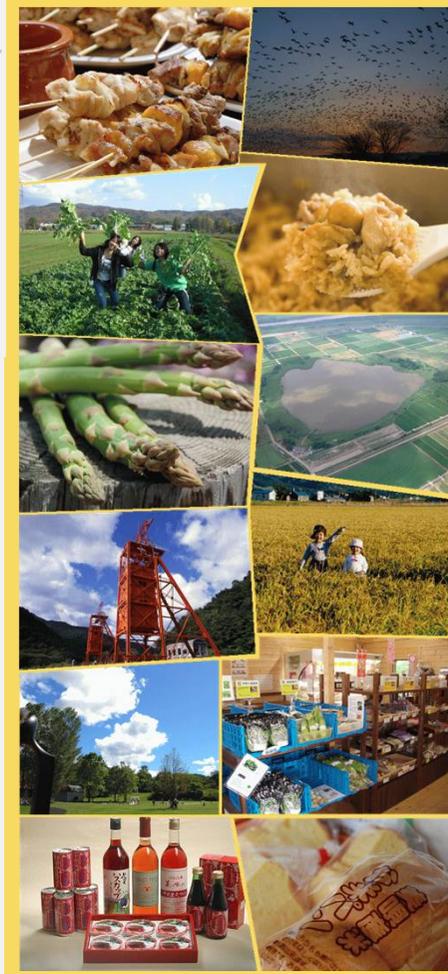
■産業：農業（農家数790戸、農地面積9,450ha）、商業（商店数258店）、工業（事業所数54事業所）

■主な施策の展開：

- ①人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり ②人と文化を育み交流が広がるまちづくり ③豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり ④誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり ⑤安全で安心して住めるまちづくり ⑥みんなで力を合わせるまちづくり



美唄 といえば！！



美唄の歴史

石狩炭田の一角である美唄炭鉱は、かつては三菱鉱業・三井鉱山の大規模炭鉱のほか、中小の炭鉱も多数拡がり、道内有数の石炭の町として栄えました。最盛期である1950年代の人口は9万人以上を数えましたが、現在はその大半が閉山しました。

近年は、農業、商工業のほか、魅力ある観光資源等を活用し、「食・農・アートが響き合う緑のまち美唄」を目指したまちづくりに取り組んでいます。



ラムサール条約に登録された湿地・宮島沼には春と秋に5万羽の渡り鳥「マガン」が飛来する（ポータルサイトPiPa特集より）

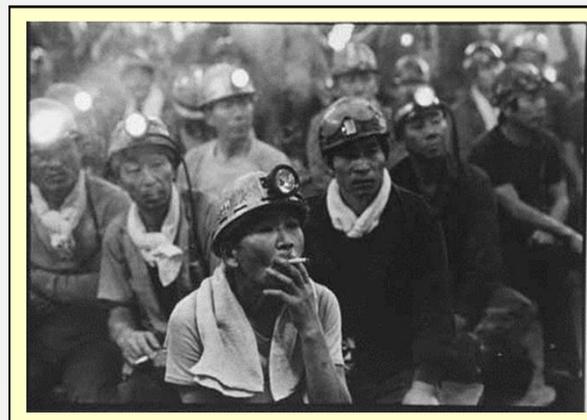
03

<http://www.pipaai.jp/specialedition/miyajimanuma/>

美唄市の概要2

特徴

- ★北海道北西部に位置し、市内を南北に日本一長い直線道路である国道12号と、函館本線が平行して縦貫している。
- ★豪雪地帯の北海道でも特に雪が多い地域。
- ★石狩川河跡湖群の一つである宮島沼はマガンの飛来地として知られ、ラムサール条約登録湿地となっている。
- ★美唄の語源はアイヌ語で「カラス貝の多く棲む沼」を意味する「ピパ・オ・イ」pipa-o-i[カラス貝・多い・もの(沼)]からとされている。
- ★石狩炭田一角である美唄炭鉱は、かつては三菱鉱業・三井鉱山の大規模炭鉱のほか、中小の炭鉱も多数拡がり、道内有数の石炭の町として栄えた。
- ★最盛期である1950年代の人口は9万人以上を数えたが、現在はその大半が閉山し過疎化の一途をたどる。
- ★今般の原油高で石炭需要が急激に高まったため北菱産業株式会社が盤の沢地区で露天掘りを再開、現在は電力会社向けに事業規模を拡大している。





ラムサール条約に登録された湿地・宮島沼には春と秋に5万羽の渡り鳥「マガン」が飛来する（ポータルサイトPiPa特集より）

<http://www.pipa.jp/specialedition/miyajimanuma/>

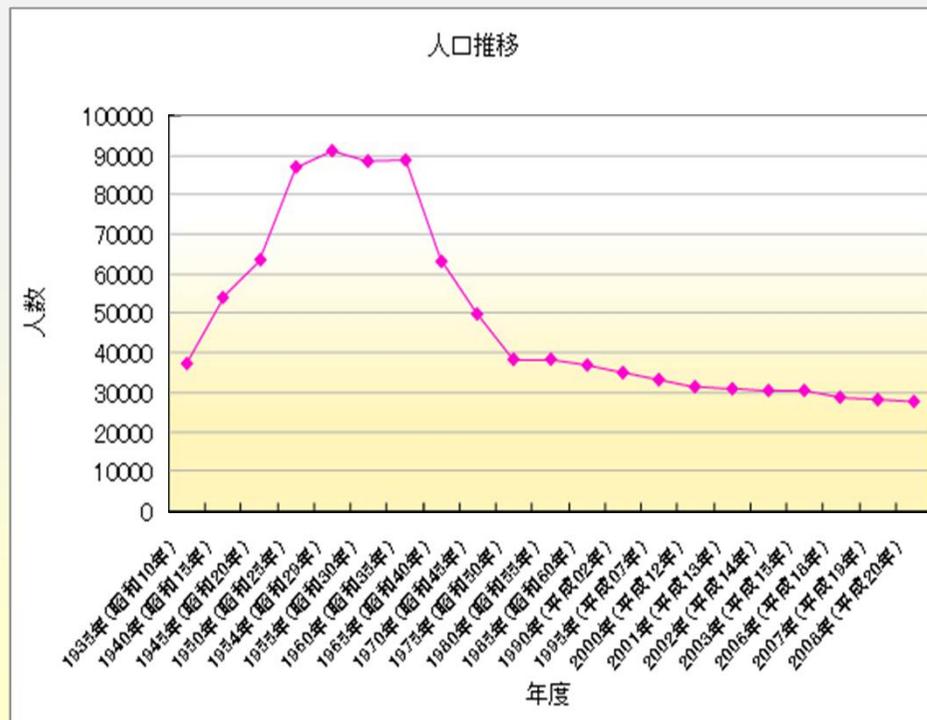
美唄市の概要3

美唄市沿革

- ・1886年(明治19年) 富山人福島磯次郎が市来知村(現三笠市)から美唄川南岸に移住、渡し守を開業し最初の移住者となる。
- ・1890年(明治23年) 沼貝村誕生。
- ・1925年(大正14年) 町制施行により沼貝町に昇格。
- ・1926年(大正15年) 美唄町に改称。
- ・1950年(昭和25年) 市制施行により美唄市に昇格(北海道の自治体として15番目の市)

人口の推移

- ・1935年(昭和10年): 約37,100人
- ・1940年(昭和15年): 約54,100人
- ・1945年(昭和20年): 約63,700人
- ・1950年(昭和25年): 約87,100人(市制施行)
- ・1954年(昭和29年): 約91,400人(ピーク時)
- ・1960年(昭和35年): 約88,800人
- ・1965年(昭和40年): 約63,100人
- ・1970年(昭和45年): 約49,600人
- ・1975年(昭和50年): 約38,400人
- ・1985年(昭和60年): 約36,800人
- ・2008年(平成20年): 約27,500人
- ・2011年(平成23年): 25,686人(12月現在)



地域の現状→課題→解決手法1

美唄市の現状

- ・美唄市では**グリーン・ツーリズム**を重点施策としており、農産物直売所が多数あり、美唄発安心・安全な農産物の開発・販路拡大に力を注いでいる。
- ・最近では体験型修学旅行などが増えてきており、例年春秋には農業収穫体験や作業体験、体験宿泊などを希望する各地の修学旅行生を受け入れている。
- ・かつて基幹産業だった炭鉱が衰退し、産業構造の中心を農業にシフトした美唄では近年において生産物、農業加工品、特産品など高い評価をいただいている。また豊かな自然を背景とした観光資源が徐々に浸透している。

一食一

- ・**米(おぼろづき)** 全国米・食味分析鑑定コンクールで**金賞**
- ・**アスパラ** 全国1, 2の出荷量、「わが村は美しくー北海道運動第3回コンクール」銀賞
- ・**ハスカップ** 収穫量が全国一
- ・**ハーブ米** 畦にハーブを植え自然の力で害虫を防ぐ独創的な取組みで**日本農業賞大賞**
- ・**中村のとりめし** 屯田開拓の歴史から生まれたとりめしが北海道産業貢献賞
- ・**美唄焼き鳥** 全国やきとり協議会に加盟し**札幌で人気**

一観光一

- ・春と秋に4万羽のマガンが飛来する「**宮島沼**」(ラムサール条約登録湿地)
- ・世界的彫刻家 安田侃氏のプロデュースした芸術公園「**アルテピアツツア美唄**」
- ・炭鉱遺産「**炭鉱メモリアル森林公園**」





地域の現状→課題→解決手法2

●美唄市の課題

観光資源

豊富な観光資源と評価の高い食材
や物産品がありながらメジャー(地域
活性化の起爆剤)にならない。

美唄自体を
知らない

美唄には何がある
のか知らない

商品の説明が
出来ない

買えない

入り込み客数

札幌や新千歳空港から車で1時間程
度と、地の利に恵まれているものの
通過型観光として訪れる方が多い。

魅力を知らない

調べられない

地域内連携

地域活性化の取り組みがそれぞれに
行われているが、連携が少なく、市外
や観光客の方々に伝わっていない

話す場所が無い

取り組みを知ら
ない

愛想が悪い

地域の現状→課題→解決手法3

●解決手法

農業者、生産者、支援関連団体

- ・商品に対する意識改革
- ・ホスピタリティの改善
- ・アグリビジネスの展開



各種セ
ミナSNS
交流

商品知識の向上
商品力のアップ

農産直売所
アンテナショップPiPa

- ・新鮮で安全な商品が揃う
- ・生産者の顔が見える



安心安
全販売
支援

郷土情報の提供

消費者動向など収集

都市マーケット、住民等

- ・郷土情報の発信
- ・親近感と共感の提供
- ・人と人のつながり

ポータル
情報発
信



リピーター獲得

人づくりの必要性

ファン獲得

課題解決

観光拠点の整備

販売拠点の整備

- ・郷土の特産品を販売
- ・生産者の顔が見え安心

遠隔地からの購入

インター
ネット販
売



ICT事業の概要

構築システムについて

美唄市では総務省の「地域ICT利活用モデル事業」を活用することで、地域ポータルサイトのコンテンツ整備と構築を行いました。システムは単なる情報発信を行うものではなく、会員の投稿によってサイトの新鮮さを保つとともに、会員ブログやメールマガジンによって地域を中心とした会員同士のSNSコミュニケーションを実現するものです。また地域の直売所と連動したインターネット販売や、直売所販売管理、顔の見えるトレーサビリティ情報の管理など、地域ポータルで必要とする機能の多くを提供しています。

美唄ファンポータル「PiPa」

「美唄ファンポータルPiPa」と名付けられた地域ポータルサイトでは美唄の郷土情報を網羅し、投稿によるイベント情報やブログなどの新鮮なトピックで賑わっています。

(H19.3.開設)
<http://www.pipaoi.jp/>



アンテナショップPiPa

インターネットに対してリアルな美唄の着地点が必要と考えています。そのために美唄の農産物や特産品等を厳選し、アンテナ販売する拠点「美唄発！アンテナショップPiPa」を開設しました。

(H19.7.開設)





「どんなに苦しくても、遠くから来てくれたお客には馳走をふるまいたい」。大正時代、貴重な鶏をさばき、米と一緒に炊き込んだ。これが100年続く「中村のとりめし」の始まり(ポータルサイトPiPa特集より)

<http://www.pipaai.jp/specialedition/nakamura/>

ICT事業の概要

美唄ファンポータルサイト「PiPa」について

美唄の魅力を知り、郷土のファンを増やし、さらに想いを醸成するためには、地域に埋没した歴史や文化を背景とする郷土情報を掘り起こすことが重要でした。米、アスパラ、ハスカップなどの全国に誇るべき農産物、米粉、菓子類などの加工品、北海道開拓史に由来する伝統のとりめしや焼き鳥などの郷土情報を収集しコンテンツとして整備しました。また収集したこれらの情報を配信するためにICTを活用した高機能なポータル「美唄ファンポータルPiPa」を構築いたしました。

【ポータルサイトPiPaの主な機能】

会員登録／記事投稿／ブログ／SNS／ネットショッピング／アンケート／ツアーガイド／メルマガ／居住・定住／特集記事／広域連携／POS連携 etc

ブランディング推進について

ICTを活用した地域資源のDB化と並行し、農産物・特産品等を販売するための工夫や資源の価値を再発見するため、アグリビジネス等の専門家による講習会及びブランディング指導を実施しました。



ネットで購入

特集を読む

記事の投稿

ブログを開設

アンケート調査

ツアーを作る



ICT事業による効果

交流の促進

☆地域ICT利活用モデル構築事業推進協議会

市、商工会議所、観光物産協会、JA、農業団体、商工団体、グループなど17団体が参加。オブザーバー(有識者)8名(H19年度~H21年度)

☆ポータルサイトPiPa運営サポーターの会

ポータルサイトPiPa会員によるサポート組織を設立。個人33名、6団体が参加(H23年3月~)

☆ブログや記事を通じた会員間交流や地元団体による連携イベントの開催

美唄産米を使った青年会議所連携 「おにぎりプロジェクト始動！」



東京都庁でのリアルな販売 東京渋谷での北海道フェア



バーチャルからリアルへの発展

バーチャル(ICT)の取り組みが発展し、多くのリアルな事業や連携が生まれました。

(関連事業)

アンテナショップ開設/食にこだわったまちづくり推進事業/地域の魅力まるごとブランド化事業/農村と都市の対流事業/農工商連携推進事業etc

(連携・交流・イベント)

農・商工団体、市民等による協議会/ポータルサイト会員によるサポート組織/記事投稿・ブログを通じた会員間交流/ツアー実施/首都圏や札幌での農産物・特産品のPR etc

中村のとりめし 新商品の開発



家庭でも簡単に炊ける「とりめし炊き込みセット」

ICT事業による効果

●利用実績(H23年度)

- ・ポータルPV数:3,876,082件
- ・ポータル会員数:1903名
- ・ポータル記事投稿数:139件
- ・ブログ公開者数:67名
- ・ブログ記事投稿数:290名
- ・SNS会員数:137名

●メディア露出

- ・地域の新聞記事取材、地元特産品のテレビ出演、事業間いあわせなど多数あり



●インターネット販売実績(H23/4/1~12/31)

- ・インターネット直売参加者:15人
- ・販売商品数:28件
- ・売り上げ:152人、708,015円(一人当たり約4,658円)

●直売所PiPa販売実績(H23/4/1~12/31)

- ・直売参加者:述べ約50人
- ・販売商品点数:113,067件
- ・売り上げ:27,526人、32,569千円(一人当たり約1,183円)

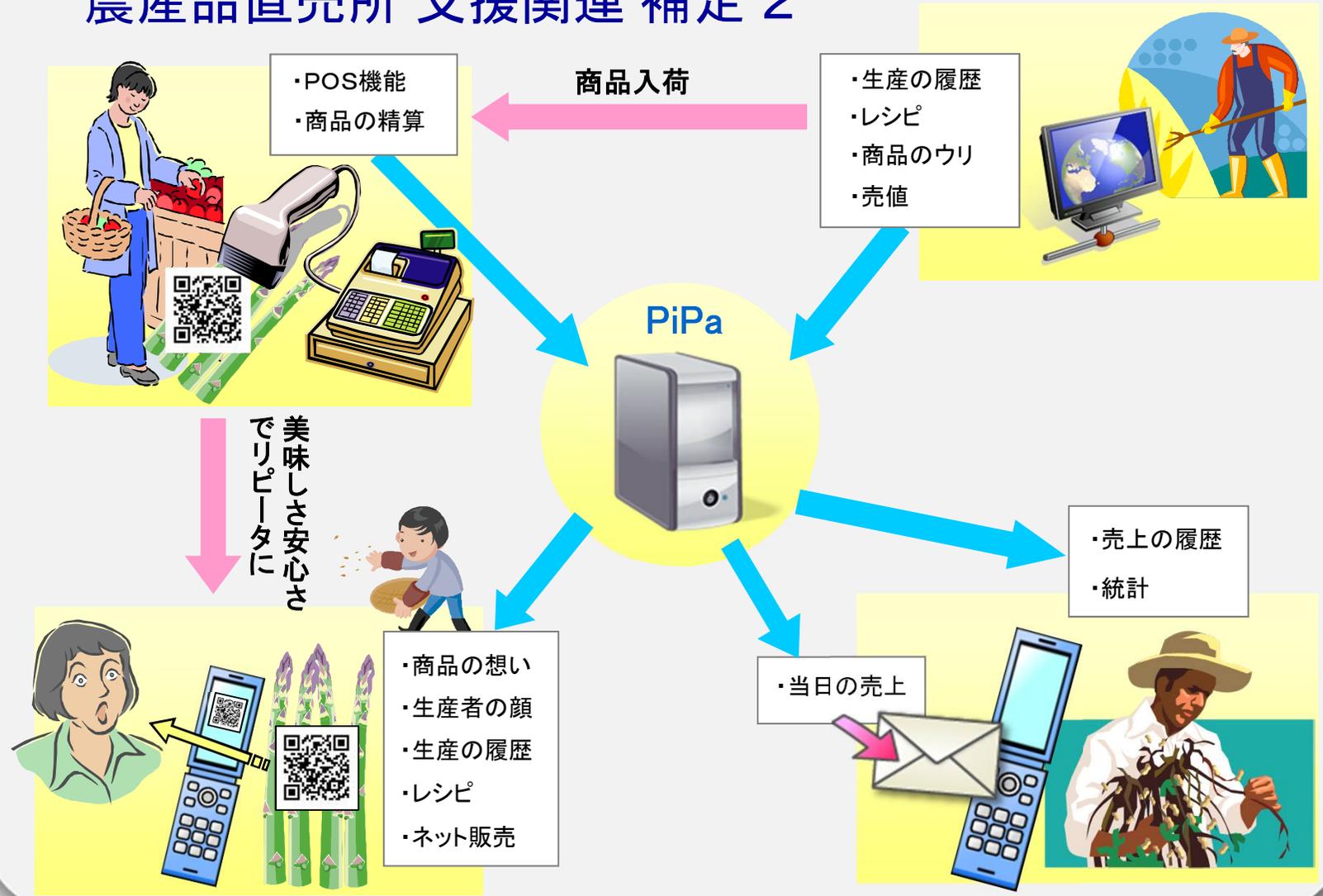
●年間ページビュー推移(H19/3~H23/12)



農産品直売所 支援関連 補足 1



農産品直売所 支援関連 補足 2



農産品直売所 支援関連 補足 3



アルテピアッツァ美唄

ご清聴ありがとうございました

